

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	行政経営課	総合計画記載頁	185ページ
-------	-------	---------	--------

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	3 市民の相互理解と共生のこころを育む	施策名	① かけがえのない個人の尊重
------	-----------------------------	----------------	---------------------	-----	----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率 H22 H24見通し	
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み		
・人権施策推進指針に基づく、人権啓発・教育・相談等の人権施策の推進 ・女性の権利が尊重されたDVのない社会づくりのための啓発及び女性への支援 ・子どもの権利を尊重する環境づくりのための相談体制の整備と児童虐待防止対策 ・いじめの根絶を図るための啓発及び学校でのいじめ対策 ・高齢者・障がい者の権利擁護のための啓発・相談	◆ 子どもから高齢者まで、一人ひとりの権利が守られていると感じている市民の割合は、平成19年の基準に対し平成20年に一度落ち込んだが、以後は、回復基調にある。 ⇒ 平成24年度末の状況としては、女性相談や児童虐待の通告件数が増え、一人ひとりの権利が脅かされている傾向もあることから、横ばいと見通している。	70.4%	子どもから高齢者まで、一人ひとりの権利が守られていると感じている市民の割合	%	37.4	39.7	41.9	44.2	46.4	48.7	70.4%	
課題	◆ 人権施策の推進については、市民意識調査においても高い住民・社会ニーズに応じていくことが求められている。 ◆ DV被害をはじめとする女性相談や、児童虐待への通告件数が増えているなど、家庭等での暴力や虐待に係る問題は多様化、複雑化しており、喫緊の課題となっている。				市民意識調査(重要度・満足度)							
					重要度	82.3	83.9	83.5				%
					満足度	19.3	25.7	24.8				%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
〔ひとを大切にすることの醸成〕 DV被害者の支援強化	○	→	◆ 被害者に最も身近な相談窓口として、平成20年4月に配偶者暴力相談支援センターを設置した。 ◆ 平成21年3月に「DV対策基本計画」を策定し、DVの防止啓発、相談、被害者の自立支援などに取り組んできた。 ⇒ 配偶者暴力相談支援センターをさらに広く周知するとともに、DV対策基本計画(目標:平成25年度)に基づき、各種事業に取り組み、DVの防止から被害者の自立支援までの推進が図られる見通し	◆ 複雑・多様化するDV相談に適切に対応できる体制の強化が必要となっている。
〔ひとを大切にすることの醸成〕 児童虐待防止体制の充実		→	◆ 児童虐待防止等ネットワーク会議(総合対策調整会議、進行管理会議、個別ケース会議)の開催により関係機関と連携し、児童に対する適切な支援を図っている。 ⇒ 個別ケース会議を活用し、情報共有や意見交換することで、より連携した支援が図られる見通し ◆ 児童虐待防止の啓発・連絡体制等を整備するため、地域組織の設置を促進しているが半数近くの地区が設置されていない。 ⇒ 平成24年度に向け、主任児童委員等との地域子育て支援策の再構築を行い、地域活動の推進を図るため、体制の整備が促進される見通し ◆ 児童相談体制等の充実を図っているが、相談件数が急激に増加し、相談内容も複雑・困難化している。 ⇒ 学校との連携体制の整備や教員に対する研修を行っており、就学児童への対応が強化される見通し。また、家庭児童相談室における家庭相談員を増員し、相談に対応していることから、子育ての不安解消、未然防止等が図られる見通し	◆ 市民の児童虐待問題に対する関心の高まりから、通告件数が急激に増加し、相談内容も複雑・困難化しており、相談・支援体制の強化が必要となっている。
〔ひとを大切にすることの醸成〕 いじめゼロ運動の推進		→	◆ いじめ根絶に向け、学校と家庭・地域が一体となって「いじめゼロ運動」を推進してきた結果、いじめの件数が着実に減少し、解消率も高い数値となっている。 ⇒ 平成24年度に向け、いじめ根絶の機運を高めることで、いじめの件数が一層減少し、解消率も上昇する見通し	◆ いじめを根絶するためには、未然防止と早期発見・早期対応の取組を一層充実させる必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	宇都宮人権擁護委員協議会負担金	宇都宮人権擁護委員協議会	-	3市2町内における人権相談件数	件	1,000 1,047	1,000 633	1,000 1,559	1,600
2	宇都宮人権擁護委員協議会宇都宮部会活動補助金	宇都宮市人権擁護委員協議会宇都宮部会	S30	人権講話実施校数	校	15 14	15 15	15 16	15
3	配偶者暴力相談支援事業	DV被害者	H20	DV相談件数	件	450 524	550 760	650 667	750
				保護命令書面照会件数	件	5 4	5 7	5 6	7
				自立支援事業 居場所利用人数	人	- -	100 204	280 216	280
4	女性相談事業	家庭内の問題や人間関係等で悩んでいる女性。売春防止法に基づく要保護女子やDV被害者	S25	女性相談件数	件	1,970 2,208	2,400 2,304	2,400 2,434	2,500
				法律相談開催件数	件	12 12	12 12	12 12	12
				カウンセリング開催件数	件	23 20	23 22	23 23	23
5	人権啓発活動事業	職員	H16	栃木県ヒューマンライツセミナー出席者	人	25 11	25 10	25 15	25
6	民間団体DV被害者支援事業補助金	認定特定非営利法人ウィメンズハウスとちぎ	H22	被害者をシェルターで保護した延べ日数	日	- -	- -	344 253	365
				被害者がステップハウスを利用した延べ日数	日	- -	- -	300 533	365
				自助グループの開催日数	日	- -	- -	24 35	24
再掲	虐待防止事業	児童(18歳未満)	H13	組織での対応により、健全育成が図られた児童数	人	77 115	69 98	62 140	56
再掲	家庭児童相談室	児童とその保護者等	S40	相談、助言等を受け、児童の健全育成が図られた件数	件	2,500 3,838	3,000 3,405	3,400 4,405	3,700
再掲	高齢者虐待防止事業	65歳以上の高齢者及び看護者等	H18	高齢者虐待に関する相談件数	件	60 62	65 73	70 70	70
再掲	障がい者週間啓発事業	市民	H12	授産品配布人数	人	1,000 1,050	1,050 1,100	1,100 1,180	1,150
再掲	いじめゼロ運動の実施	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	H20	いじめの解消率	%	92 94	93 98	94 97	95

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	3 市民の相互理解と共生のこころを育む	施策名	② 男女共同参画の推進
------	-----------------------------	----------------	---------------------	-----	-------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	
・ワーク・ライフ・バランスのとれた社会の実現に向けて、企業や市民の理解・取組促進を図るため、企業啓発セミナーや事業者訪問、企業向けワーク・ライフ・バランス実践ガイドブックの作成・配布、ファザーリングや女性のチャレンジ支援事業等 ・男女共同参画意識を醸成するため、市民団体との協働によるイベントを開催するとともに、男女共同参画推進講座の開催や、広報誌、男女共同参画啓発誌の発行など、意識啓発事業	◆「男女共同参画が進んでいると感じる市民の割合」は、平成19年度以降、減少傾向にある中で、平成21年度に一時持ち直した。 ⇒ 事業の推進により平成24年度には再度持ち直すことが見込まれる。	56.7%	男女共同参画が進んでいると感じる市民の割合	%		32.1	34.3	36.5	38.7	41.1	56.7%
					29.9	24.6	28.0	23.3	23.3	26.4	64.2%
課題	◆ ワーク・ライフ・バランスの推進については、景気の低迷による社会状況の悪化のなか、企業等が優先的に取り組みにくい現状にあるため、今後、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組をいかに推進させるかが課題である。 ◆ 男女共同参画に向けた意識醸成を図るため各種啓発事業に取り組んでいるが、市民の男女共同参画意識を高め、講座等への参加を増やして行くことが課題となっている。 ◆ 市民との協働による男女共同参画推進のため、市民団体と連携協力し事業に取り組んでいるが、団体の高齢化や構成団体の減少などが進んでおり、将来に向けた市民団体の育成が課題である。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	61.1	66.9	63.6			%
					満足度	19.3	22.9	23.3			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
ワーク・ライフ・バランスの促進	○	→	◆ 男女がともに仕事と生活のバランスをとることができるよう、職場・家庭の環境づくりを促進するため各種事業を実施しており、市内企業のワーク・ライフ・バランスの推進の意義や重要性についての理解が進んできている。 ⇒ H20年3月に策定の第2次男女共同参画行動計画(目標:平成24年度)に基づき、関係課において各分野での取り組みを進めるとともに、引き続き関係機関、関係課との連携を図りながら、企業と市民への啓発事業に積極的に取り組むことにより、市民のワーク・ライフ・バランスへの理解が進む見通し	◆ 景気低迷のなか、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組が推進されにくい状況にある

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	ワーク・ライフ・バランス推進事業	市民及び事業者等	H19	WLB実践ガイドブックの配布	部	-	-	1,000	1,000
						-	-	1,000	
				チャレンジ支援事業実施数	事業	5	5	4	5
						5	5	4	
				企業啓発セミナー実施回数	回	-	1	3	1
						-	1	2	
2	市民啓発事業	市民、児童生徒、教育関係者	H19	市民啓発講座開催回数	回	23	23	25	20
						18	19	22	
3	ときめく未来へ参画会議交付金	ときめく未来へ参画会議実行委員会	H19	参加者数	人	1,000	1,000	1,000	1,000
						956	975	714	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始 年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
4	宇都宮市女性団体連絡協議会補助金	宇都宮市 女性団体 連絡協議 会	S62	主催事業の開催数	回	2	2	2	2
						2	2	2	
5	男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや 市民会議補助金	男女共同 参画社会 の実現を 目指すう つのみや 市民会議	H9	主催事業の開催回数	回	5	5	3	3
						4	3	3	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	3 市民の相互理解と共生のこころを育む	施策名	③ 多文化共生の地域づくり
------	-----------------------------	----------------	---------------------	-----	---------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
・コミュニケーションに課題を抱える在住外国人の支援のための多言語での情報発信や生活相談・通訳ボランティアによる会話サポートなどの事業 ・市民と在住外国人の相互理解促進のための在住外国人と市民のネットワーク化支援や多文化共生の地域づくり ・平和の尊さへの思いの継承のための平和教育・平和啓発事業	◆ 各種の情報や活動場所の提供などの支援により、「在住外国人を支援する民間ボランティア団体の会員数」は着実に増加してきた。 ⇒ 平成21年度にソーシャルコーディネーター育成事業や多言語通訳登録派遣事業を開始し、在住外国人に対するきめ細かな支援体制が整ってきており、民間ボランティア団体の会員数は今後も増加する見込みである。	97.1%	在住外国人を支援する民間ボランティア団体の会員数	人	600	630	661	695	730	765	97.1%
						691	731	743	755	765	100.0%
課題	◆ リーマンショック以降の景気の低迷に加え、東日本大震災の影響で雇用環境はさらに悪化しており、在住外国人の生活が一層厳しくなることが予想される。 ◆ 在住外国人に対する支援活動を行う市民が増えている一方で、市民意識調査結果の重要度・満足度は低く、多文化共生や平和について身近な問題と感じている市民の割合は低い。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	52.2	49.9	51.2		%	
					満足度	17.7	18.3	21.2		%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
在住外国人と市民のネットワーク化支援事業		→	◆ 多文化共生・国際交流活動の中核団体である宇都宮市国際交流協会の会員数及びその他のボランティア団体の会員数は増加しており、民間団体が活発に活動している状況にある。 ⇒ 長引く景気の低迷などから、大幅な増加は期待できないが、市民活動団体への支援の継続などにより、今後も増加する見通し	◆ 在住外国人の定住化が進む傾向にあるとはいえ、外国人と身近に接する機会のない市民も多く、関心の低さにつながっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	市民交流活動推進補助金	民間団体	H13	補助金交付団体数	団体	10	10	10	10
						2	4	5	
2	多文化共生の地域づくり事業	市民 (在住外国人)	H21	多文化共生イベント参加者数	人	—	55	55	55
						—	41	17	
3	多文化共生ソーシャルコーディネーター事業	在住外国人	H21	ソーシャルコーディネーター講座修了者	名	—	10	10	10
				コーディネーターによる個別支援件数	件	—	—	24	24
						—	—	2	
4	平和親善大使広島派遣事業交付金	宇都宮市平和親善大使 広島派遣実行委員会	H12	平和親善大使数	人	13	25	25	25
						13	25	25	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
5	平和のつどい実行委員会交付金	宇都宮市平和のつどい実行委員会	H12	平和のつどい参加者数	人	250	250	300	300
						200	150	180	
6	姉妹・文化友好都市との交流事業	市民	S62	派遣事業数	件	5	5	5	5
						5	0	4	
				受入事業数	件	5	5	5	5
						6	1	2	
7	多言語通訳登録派遣事業	市民 (在住外国人)	H21	通訳ボランティア登録者数	名	—	40	40	40
						—	50	60	
8	平和啓発事業推進補助金	民間団体	H21	平和啓発事業数	件	—	6	6	5
						—	2	2	
9	国際交流協会補助金	宇都宮市国際交流協会	H9	宇都宮市国際交流協会登録団体数	団体	30	30	30	30
						30	46	43	
				宇都宮市国際交流協会個人会員数	人	300	300	300	300
						300	336	501	
10	宇都宮市戦没者追悼式	市民（戦没者遺族・海外引揚死没者遺族・公務殉職者遺族・震災殉職者遺族）		宇都宮市戦没者追悼式出席者人数	人	500	500	500	500
						400	400	350	
11	在住外国人自立化支援事業	市民 (在住外国人)	H19	日本語ボランティア講座修了者数	人	30	30	30	30
						43	41	34	